

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
014231_南幌町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	・子育て世代が移住により増加したが、共働き世帯が多く、家庭内で多様な体験活動が希薄している。	・放課後の時間を利用して、子ども達の多様な文化活動やスポーツ活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施 ・土日祝日に特別講師を招いて、学校や家庭では体験できないような教室の開催	放課後の時間を利用して体験活動や地域住民との交流活動を実施したが、参加者が固定化する傾向や、活動内容によって参加人数にばらつきがもたらされた。また、指導者の確保やプログラム内容のマンネリ化が課題として挙げられた。 夏の長期休暇に応じた多様なプログラムの導入を図るとともに、スポーツ文化・地域交流をバリエーションよく組み合わせることで、参加しやすき継続的な参加につなげる。また、地域人材の発掘・活用を進めるほか、外部講師の継続的な招聘により、専門性の高い体験機会の充実を図る。	・学校や家庭では体験することのできない文化及びスポーツ活動などで青少年育成の充実を図る。	事業の開催回数	69	件	90	77	02 本! 要因としては、参加児童生徒のニーズ把握が十分でなかったこと、事業内容の周知不足、並びに学校や地域団体との連携が限定的であったことが考えられる。 今後は、参加者ニーズの的確な把握に努めるとともに、魅力あるプログラム内容への見直しや周知方法の工夫、関係機関との連携強化を図り、参加促進及び活動の質の向上につなげていく必要がある。	https://www.town.nanporo.hokkaido.jp/teach/board-education/	
014231_南幌町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	・児童生徒の基礎学力及び学習意欲の低下 ・家庭学習習慣の希薄化	・学校や学習塾と連携し、外部講師による、公設学習塾の設置する。	学習支援に関する取組を実施したものの、継続的な学習機会の確保や個々の学力に応じた指導体制の構築が十分とは見え、参加者の学習意欲の維持や学力向上への効果に課題が挙げられた。 学校との情報共有を密にし、児童生徒の学習状況に応じた指導内容の充実を図るとともに、学習習慣の定着及び基礎学力の向上を目指す。	・学校以外での学習機会の創出により学習意欲の向上を図り、家庭学習時間が増加する。	平日の1日当たりの家庭学習時間(1時間以上の割合)	40	%	50	37	01 本年度の目標を大きく超え、取組の根本的な進捗が求められる。 対象児童生徒のニーズに即した指導内容の設定が不十分であったこと、参加者の固定化や利用促進に向けた働きかけの不足、さらには学校との情報共有や役割分担が十分でなかったことが挙げられる。 また、時間帯の設定が利用しやすさの面で課題となっている可能性も考えられる。	https://www.town.nanporo.hokkaido.jp/teach/board-education/	
014231_南幌町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	・学校カリキュラムの中で専門的技術が必要とする授業における、指導者の不足	・専門的技術を有した学校支援ボランティアを活用する。	専門的技術を有する人材の確保が十分ではなく、活動内容が固定化となる傾向が懸念された。また、学校側のニーズとボランティアの技術とのマッチングや、継続的な関わり性の確保にも課題があった。 専門的技術を有した学校支援ボランティアの積極的な発掘・登録を進めるとともに、学校との連携機能を強化し、ニーズに応じた適切な取組を行う。	・地域住民と学校が連携強化により、地域に根ざした学校教育体制の推進を図る。	当該授業に関わった学校支援ボランティアの人数	20	人	40	48	03 本年度の目標を達成することができた。 今後は、さらなる活動の質の向上と安定的な人材確保に向け、継続的な育成体制の充実や学校との連携強化を図るとともに、活動しやすい環境整備を進めていく必要がある。	https://www.town.nanporo.hokkaido.jp/teach/board-education/	